



2学期もよろしくお願ひします

校長 高島 恭子

夏休みを終え、2学期が始まりました。今年の夏は、何度も熱中症警戒アラートが発令されました。青空でも思い切り外で身体を動かして遊ぶことができない夏休みだったと思いますが、保護者や地域の皆様が八幡っ子の夏休みの生活を見守ってくださったおかげで、子供たちは元気に2学期を迎えることができました。

始業式の朝、児童玄関前で子供たちをハイタッチしながら迎えました。笑顔いっぱいで自分からハイタッチしてきた子、夏休みの作品等を両手に持っているため腕でハイタッチを返してくれた子、恥ずかしそうに無言でタッチしていく子。久しぶりに子供たちがそろったことを本当に嬉しく思いました。

始業式の後、各クラスでは、友達と夏休みの思い出を語り合ったり、作品を見せ合ったりしていました。子供たちの会話から、「友達とまた一緒にがんばるぞ」という気持ちが伝わってきました。

2学期は、各学年の校外学習や学習発表会等、学校行事がたくさんあります。毎日の学習と行事に向けての活動をつなげ、夏休みに高めた子供たち一人一人の力ややる気を引き出し、『学校って楽しいな』と思える時間を増やしていきたいと思います。

八幡っ子にとって実りの秋となるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでいきますので、今学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

誰もが安心して学べる学校を目指して

特別支援コーディネーター 湯浅 吏永子

特別支援教育の対象は、全ての子供たちです。特定の子供だけを対象とするものではありません。誰もが安心して学校生活を送り、自分らしく成長していくために、学校全体で取り組む大切な教育の一つです。

八幡小学校では、今年度より、「通級指導教室」（まなびの教室）を開設しました。学習や生活において、個別の支援を行うための教室です。言語やコミュニケーション、注意の持続や学習方法の工夫等、子供たち一人一人に寄り添いながら、自分の力を発揮できるよう、週に1時間程度、担当教諭がその子に応じた支援をしています。子供自身が「できた」「わかった」と実感できたとき、子供たちの自己肯定感も高まり、その後のやる気につながっています。

通常学級でも、誰もが使いやすい環境づくりや分かりやすく多様な学習を取り入れる授業づくりといった「ユニバーサルデザイン化」を進めています。私たちは、一人一人の個性や特性を尊重し、通常学級、特別支援学級、通級指導教室が連携し、これからも八幡っ子が安心して学べる学校を目指して、特別支援教育に取り組んでいきます。

ホームページでは、八幡っ子の活躍の様子を随時お伝えしていきます。2学期もぜひ、ご覧ください。

1学期末時点でのアクションプランの達成状況については、本校ホームページにてお知らせします。

学校経営を見直し、目標達成を目指して、2学期も引き続き取り組んでまいります。

ご意見等がございましたら、ぜひ学校までお寄せください。



【2学期始業式】
みんなで元気いっぱい
校歌を歌いました。